

平成27年6月30日

各 位

会社名	フタバ産業株式会社
代表者名	取締役社長 三島 康博
コード番号	7241 東証・名証第1部
お問合せ先	上席執行役員 小木曾 伸一 TEL (0564) 31-2211

(訂正) 「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年1月31日に開示いたしました「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由および経緯

訂正の理由および経緯につきましては、平成27年6月30日付け「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	273,424	3.3	△756	—	△2,587	—	△3,634	—
24年3月期第3四半期	264,817	△6.8	△264	—	△2,572	—	△5,523	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △2,071百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △7,087百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 △51.96	円 銭 —
24年3月期第3四半期	円 銭 △78.95	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 209,374	百万円 44,940	% 15.8
24年3月期	百万円 221,579	百万円 48,175	% 16.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 33,182百万円 24年3月期 35,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	361,000	△3.0	△1,800	—	△2,800	—	△3,800	—	△54.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	70,049,627株	24年3月期	70,049,627株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	95,131株	24年3月期	94,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	69,955,107株	24年3月期3Q	69,956,115株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな回復の傾向が見えるものの、欧州の財政金融不安の再燃等を背景とした先行き不透明感が高まっております。また、景気拡大が続いてきた中国、インドを始めとした新興国においても景気の拡大テンポはやや弱まってきており、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、円安による輸出環境の改善や経済対策の効果等を背景に、景気回復へ向かうことが期待されておりますが、世界経済の減速懸念等もあり、厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、グローバルレベルで見れば、北米において回復の傾向が見えるものの、欧州においては依然として低迷しております。また、中国においては日中関係悪化の影響もあり、やや低迷しております。国内市場においてはエコカー補助金に伴う自動車販売の好調もあり堅調に推移してはりましたが、政策効果一巡に伴う販売減もあり、やや弱い動きとなっております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直し及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,734億円(前年同四半期比3.3%増)となり、営業損失は7億円(前年同四半期は2億円の営業損失)、経常損失は25億円(前年同四半期は25億円の経常損失)、四半期純損失は36億円(前年同四半期は55億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は1,840億円(前年同四半期比2.5%増)となりました。セグメント損失は4億円(前年同四半期は29億円のセグメント損失)となりました。

②北米

売上高は419億円(前年同四半期比38.1%増)となりました。セグメント損失は14億円(前年同四半期は13億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は142億円(前年同四半期比21.9%減)となりました。セグメント損失は6億円(前年同四半期は0億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は425億円(前年同四半期比3.0%減)となりました。セグメント利益は16億円(前年同四半期比60.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、たな卸資産及び投資有価証券等の増加はありましたが、売上債権等の減少により、前連結会計年度末に比べて122億円減少し、2,093億円となりました。負債については、有利子負債等の増加はありましたが、仕入債務等の減少により、前連結会計年度末に比べて89億円減少し、1,644億円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金等の増加はありましたが、四半期純損失の計上により、前連結会計年度末に比べて32億円減少し、449億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、取り巻く環境の悪化の影響も踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、当第3四半期連結会計期間において通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(ただし、金型を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ134百万円減少しております。

(3) 持分法の適用に関する事項

第2四半期連結会計期間において、重要性が増したため、YMPプレス&ダイ(株)を持分法の適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,613	17,867
受取手形及び売掛金	49,860	36,664
製品	3,923	3,819
仕掛品	7,651	11,289
原材料及び貯蔵品	3,787	3,761
繰延税金資産	6	3
その他	10,145	6,620
貸倒引当金	△87	△61
流動資産合計	91,900	79,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,103	27,883
機械装置及び運搬具(純額)	46,235	42,305
工具、器具及び備品(純額)	3,818	3,870
土地	15,040	15,098
リース資産(純額)	4,206	5,317
建設仮勘定	8,289	10,175
有形固定資産合計	105,692	104,650
無形固定資産		
1,096		1,161
投資その他の資産		
投資有価証券	17,988	18,621
長期貸付金	2,028	1,996
繰延税金資産	663	576
その他	4,914	4,848
貸倒引当金	△2,706	△2,444
投資その他の資産合計	22,889	23,598
固定資産合計	129,678	129,409
資産合計	221,579	209,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,247	40,302
短期借入金	36,969	33,129
1年内返済予定の長期借入金	25,940	11,909
リース債務	4,022	4,360
未払法人税等	1,013	332
未払消費税等	639	639
リコール損失引当金	130	52
未払費用	7,316	6,197
その他	4,610	5,600
流動負債合計	135,890	102,523
固定負債		
長期借入金	18,912	42,318
リース債務	1,226	1,701
繰延税金負債	7,232	7,371
退職給付引当金	8,997	9,403
役員退職慰労引当金	82	82
製品保証引当金	383	383
資産除去債務	189	189
その他	489	460
固定負債合計	37,513	61,911
負債合計	173,403	164,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	10,413
利益剰余金	9,955	8,290
自己株式	△147	△147
株主資本合計	34,011	30,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,415	7,052
為替換算調整勘定	△4,650	△4,246
その他の包括利益累計額合計	1,765	2,806
少数株主持分	12,399	11,757
純資産合計	48,175	44,940
負債純資産合計	221,579	209,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	264,817	273,424
売上原価	252,767	261,578
売上総利益	12,050	11,846
販売費及び一般管理費	12,315	12,602
営業損失(△)	△264	△756
営業外収益		
受取利息	168	243
受取配当金	239	262
作業くず売却益	217	194
持分法による投資利益	19	—
為替差益	—	32
デリバティブ評価益	13	—
雑収入	582	495
営業外収益合計	1,241	1,227
営業外費用		
支払利息	1,211	997
固定資産廃棄損	38	444
持分法による投資損失	—	1,125
為替差損	1,535	—
デリバティブ評価損	—	61
雑損失	763	429
営業外費用合計	3,548	3,059
経常損失(△)	△2,572	△2,587
特別損失		
投資有価証券評価損	766	129
リコール損失引当金繰入額	236	—
特別損失合計	1,002	129
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,574	△2,716
法人税等	993	440
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,568	△3,156
少数株主利益	954	478
四半期純損失(△)	△5,523	△3,634

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△4,568</u>	<u>△3,156</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	<u>△989</u>	<u>635</u>
為替換算調整勘定	<u>△1,282</u>	<u>334</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	<u>△248</u>	<u>115</u>
その他の包括利益合計	<u>△2,519</u>	<u>1,085</u>
四半期包括利益	<u>△7,087</u>	<u>△2,071</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△7,830</u>	<u>△2,593</u>
少数株主に係る四半期包括利益	743	522

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	172,481	30,385	18,263	43,687	264,817	—	264,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,142	0	0	214	7,356	△7,356	—
計	179,624	30,385	18,263	43,901	272,174	△7,356	264,817
セグメント利益又は損失(△)	△2,956	△1,362	△64	4,092	△290	25	△264

(注)1 セグメント利益の調整額25百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	174,785	41,957	14,257	42,424	273,424	—	273,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,306	0	0	168	9,475	△9,475	—
計	184,091	41,957	14,257	42,592	282,899	△9,475	273,424
セグメント利益又は損失(△)	△428	△1,416	△612	1,612	△845	89	△756

(注)1 セグメント利益の調整額89百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月24日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,969百万円

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日 平成24年5月24日

(2) 効力発生日 平成24年5月24日

(訂正前)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 佐々木 康夫 TEL 0564-31-2211
四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	273,424	3.3	△756	—	△1,634	—	△2,681	—
24年3月期第3四半期	264,817	△6.8	△264	—	△2,572	—	△5,488	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,113百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △6,861百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第3四半期	円 銭 △38.34	円 銭 —
24年3月期第3四半期	円 銭 △78.45	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第3四半期	百万円 210,553	百万円 46,119	% 16.3
24年3月期	百万円 221,798	百万円 48,397	% 16.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 34,361百万円 24年3月期 35,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	361,000	△3.0	△1,800	—	△2,800	—	△3,800	—	△54.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	70,049,627株	24年3月期	70,049,627株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	95,131株	24年3月期	94,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	69,955,107株	24年3月期3Q	69,956,115株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国で緩やかな回復の傾向が見えるものの、欧州の財政金融不安の再燃等を背景とした先行き不透明感が高まっております。また、景気拡大が続いてきた中国、インドを始めとした新興国においても景気の拡大テンポはやや弱まってきており、総じて厳しい状況にあります。

国内経済は、円安による輸出環境の改善や経済対策の効果等を背景に、景気回復へ向かうことが期待されておりますが、世界経済の減速懸念等もあり、厳しい状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、グローバルレベルで見れば、北米において回復の傾向が見えるものの、欧州においては依然として低迷しております。また、中国においては日中関係悪化の影響もあり、やや低迷しております。国内市場においてはエコカー補助金に伴う自動車販売の好調もあり堅調に推移してはりましたが、政策効果一巡に伴う販売減もあり、やや弱い動きとなっております。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直し及び物流費の低減などの収益改善活動等に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,734億円(前年同四半期比3.3%増)となり、営業損失は7億円(前年同四半期は2億円の営業損失)、経常損失は16億円(前年同四半期は25億円の経常損失)、四半期純損失は26億円(前年同四半期は54億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は1,840億円(前年同四半期比2.5%増)となりました。セグメント損失は4億円(前年同四半期は29億円のセグメント損失)となりました。

②北米

売上高は419億円(前年同四半期比38.1%増)となりました。セグメント損失は14億円(前年同四半期は13億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は142億円(前年同四半期比21.9%減)となりました。セグメント損失は6億円(前年同四半期は0億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は425億円(前年同四半期比3.0%減)となりました。セグメント利益は16億円(前年同四半期比60.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、たな卸資産及び投資有価証券等の増加はありましたが、売上債権等の減少により、前連結会計年度末に比べて112億円減少し、2,105億円となりました。負債については、有利子負債等の増加はありましたが、仕入債務等の減少により、前連結会計年度末に比べて89億円減少し、1,644億円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金等の増加はありましたが、四半期純損失の計上により、前連結会計年度末に比べて22億円減少し、461億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、取り巻く環境の悪化の影響も踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、当第3四半期連結会計期間において通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(ただし、金型を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ134百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,613	17,867
受取手形及び売掛金	49,860	36,664
製品	3,923	3,819
仕掛品	7,651	11,289
原材料及び貯蔵品	3,787	3,761
繰延税金資産	6	3
その他	10,145	6,620
貸倒引当金	△87	△61
流動資産合計	91,900	79,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,103	27,883
機械装置及び運搬具(純額)	46,235	42,305
工具、器具及び備品(純額)	3,818	3,870
土地	15,040	15,098
リース資産(純額)	4,206	5,317
建設仮勘定	8,289	10,175
有形固定資産合計	105,692	104,650
無形固定資産		
1,096	1,096	1,161
投資その他の資産		
投資有価証券	18,207	19,800
長期貸付金	2,028	1,996
繰延税金資産	663	576
その他	4,914	4,848
貸倒引当金	△2,706	△2,444
投資その他の資産合計	23,108	24,777
固定資産合計	129,897	130,589
資産合計	221,798	210,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,247	40,302
短期借入金	36,969	33,129
1年内返済予定の長期借入金	25,940	11,909
リース債務	4,022	4,360
未払法人税等	1,013	332
未払消費税等	639	639
リコール損失引当金	130	52
未払費用	7,316	6,197
その他	4,610	5,600
流動負債合計	135,890	102,523
固定負債		
長期借入金	18,912	42,318
リース債務	1,226	1,701
繰延税金負債	7,230	7,371
退職給付引当金	8,997	9,403
役員退職慰労引当金	82	82
製品保証引当金	383	383
資産除去債務	189	189
その他	489	460
固定負債合計	37,511	61,911
負債合計	173,401	164,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	12,382	10,413
利益剰余金	10,181	9,469
自己株式	△147	△147
株主資本合計	34,237	31,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,410	7,052
為替換算調整勘定	△4,650	△4,246
その他の包括利益累計額合計	1,760	2,806
少数株主持分	12,399	11,757
純資産合計	48,397	46,119
負債純資産合計	221,798	210,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	264,817	273,424
売上原価	252,767	261,578
売上総利益	12,050	11,846
販売費及び一般管理費	12,315	12,602
営業損失(△)	△264	△756
営業外収益		
受取利息	168	243
受取配当金	239	262
作業くず売却益	217	194
持分法による投資利益	19	—
為替差益	—	32
デリバティブ評価益	13	—
雑収入	582	495
営業外収益合計	1,241	1,227
営業外費用		
支払利息	1,211	997
固定資産廃棄損	38	444
持分法による投資損失	—	172
為替差損	1,535	—
デリバティブ評価損	—	61
雑損失	763	429
営業外費用合計	3,548	2,106
経常損失(△)	△2,572	△1,634
特別損失		
投資有価証券評価損	540	129
リコール損失引当金繰入額	236	—
特別損失合計	776	129
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,348	△1,763
法人税等	993	440
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,342	△2,203
少数株主利益	1,146	478
四半期純損失(△)	△5,488	△2,681

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△4,342</u>	<u>△2,203</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△989	640
為替換算調整勘定	△1,282	334
持分法適用会社に対する持分相当額	△248	115
その他の包括利益合計	<u>△2,519</u>	<u>1,089</u>
四半期包括利益	<u>△6,861</u>	<u>△1,113</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△7,604</u>	<u>△1,636</u>
少数株主に係る四半期包括利益	743	522

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	172,481	30,385	18,263	43,687	264,817	—	264,817
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7,142	0	0	214	7,356	△7,356	—
計	179,624	30,385	18,263	43,901	272,174	△7,356	264,817
セグメント利益又は損失(△)	△2,956	△1,362	△64	4,092	△290	25	△264

(注)1 セグメント利益の調整額25百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	174,785	41,957	14,257	42,424	273,424	—	273,424
セグメント間の内部売上高又は 振替高	9,306	0	0	168	9,475	△9,475	—
計	184,091	41,957	14,257	42,592	282,899	△9,475	273,424
セグメント利益又は損失(△)	△428	△1,416	△612	1,612	△845	89	△756

(注)1 セグメント利益の調整額89百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年5月24日の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について決議いたしました。

1 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

資本準備金の額を減少し剰余金の処分を行うことによって、繰越利益剰余金の欠損を填補するもの。

2 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少しその他資本剰余金に振替えるもの。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

3 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2で振替えたその他資本剰余金をさらに繰越利益剰余金に振替え、欠損を填補するもの。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 1,969百万円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 1,969百万円

4 資本準備金の額の減少及び剰余金の効力の発生日

(1) 取締役会決議日 平成24年5月24日

(2) 効力発生日 平成24年5月24日